

通信ソフト

MA-725A-00-00

取 扱 説 明 書

AMADA

ソフトウェア使用許諾契約書

これはソフトウェア使用許諾と限定保証に関する同意書です。ご使用に当たっては、当社と下記の〔ソフトウェア使用許諾契約書〕による使用許諾契約を結んで頂くこととなります。お客様がこのソフトをインストールした場合は、ソフトウェア使用許諾契約に同意されたものとみなさせていただきます。契約書の内容を十分にご確認のうえ、本契約に同意頂ける場合にのみインストールを行ってください。ご使用条件をご承諾いただけない場合には、インストールせずに、速やかに本製品及びその複製物をコンピュータの一時メモリあるいはハードディスクより消去してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

この契約書は株式会社アマダワールドテック（以下、「甲」といいます。）が提供するソフトウェアの使用について、使用頂くお客様（以下、「乙」といいます。）に対して、下記条項に基づき、非譲渡性、非独占の使用権を許諾する条件を定めたものです。

第1条（定義）

1. 甲が本契約と共に提供するソフトウェア製品（以下、「本ソフトウェア製品」といいます。）とは、本媒体又は提供された圧縮ファイルに含まれるコンピュータ・プログラム、ドキュメント及びその他全てのファイル類を指し、甲が指定する特定のサービスを通じて提供される可能性のある本ソフトウェア製品の改良版を含みます。
2. 「使用」とは本ソフトウェア製品をコンピュータの記憶装置又はメモリに搭載し、又はCPUで実行することを指します。
3. 「インストール」とは、本ソフトウェア製品をハードディスクドライブ又は同類の保管装置に実行可能な形態でコピーすることを指します。

第2条（知的財産権及び所有権）

1. 甲は、オリジナル若しくはコピーの形態又は媒体に拘わらず、本ソフトウェア製品を記録する媒体、及びその後作成された全ての本ソフトウェア製品のコピーについて著作権を含む一切の知的財産権及び所有権を保持します。
2. 甲は、乙に対し本ソフトウェア製品に対するいかなる権利も譲渡しません。

第3条（使用許諾条件）

1. 乙は、本ソフトウェア製品の全部又は一部をコンピュータにインストールし、本ソフトウェア製品を使用することが出来ます。
2. 乙は、コンピュータにインストールした本ソフトウェア製品を、株式会社アマダワールドテックから出荷された製品に対してのみ使用することができます。
3. 乙は、日本国の輸出規制または諸外国の輸出入管理に関する法令に違反して、直接、間接を問わず、本ソフトウェア製品を輸出（インターネット経由を含む）することはできません。

第4条（禁止事項）

1. 乙は、第三者に対し、いかなる理由によろうとも甲の文書による事前の承諾なくして、本製品の全部又は一部の譲渡・販売・転貸しあるいはその二次的著作物を創作・譲渡・販売・転貸することはできないものとします。
2. 乙は、自ら又は第三者を使って、本ソフトウェア製品の全部又は一部の改変、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、デコンパイル、翻訳、翻案などを行うことは出来ません。

3. 乙は、本ソフトウェア製品に表示されているか又はその動作時に表示される著作権表示、商標登録等を除去したり、視認困難にすることは出来ません。
4. 乙は、万一、本条項のいずれかの規定に違反して甲に損害を生ぜしめた場合には、乙は賠償の責に任ずるものとします。

第5条 (保証範囲及び責任)

1. 甲は、本ソフトウェア製品が乙の保有する動作環境に於いて、全て正常に動作することを保証するものではありません。
2. 甲は、本ソフトウェア製品の仕様を予告なしに変更することがあり、本ソフトウェア製品の機能性能及び品質が乙の特定目的に適合することを、明示たると黙示たるとを問わず何らの保証もしないものとします。
3. 甲は、乙が本ソフトウェア製品を使用した結果被ったいかなる損害（収入又は利益の逸失を含む）に関して、一切の責任を負わないものとします。

第6条 (契約期間)

1. 本契約は、乙が本ソフトウェア製品をインストールした日より発効するものとします。
2. 乙は、乙の入手した本ソフトウェア製品とその複製とを破棄することにより本契約をいつでも解約することが出来ます。
3. 甲は、乙が本契約のいずれかの条項に違反していると甲が判断した場合、乙への事前の通知なしに本契約を解約することが出来ます。乙は甲より契約解約の通知を受けた場合、直ちに乙の購入した本製品とそのコピーとを自らの負担で破棄するものとし、破棄の事実を甲に文書で通知してください。

第7条 (一般条項)

1. 本契約書の一部が法律に適合しなかった場合には、その部分を本契約から除外します。ただし、残りの条項の効力は何ら影響を受けないものとします。
2. 本契約は、日本法に準拠します。本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以 上

このたびは、弊社の通信ソフト **MA-725A-00-00** をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」を最後までよくお読みください。
また、お読みになった後はいつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

1. 動作環境	1
2. インストール	2
3. Communication toolを起動する	5
4. イーサネット通信を行う	6
(1) 通信設定を変更する	6
(2) 通信を開始する	7
(3) 通信内容を確認する	8
(4) 通信を停止する	8
5. シリアル通信を行う	9
(1) 通信設定を変更する	9
(2) 通信を開始する	11
(3) 通信内容を確認する	12
(4) 通信を停止する	12
6. 通信状況を確認する	13
7. 通信データをファイル出力する	14
8. 表示言語を設定する	15
9. ログ形式を設定する	16
10. 設定を保存する	17
11. バージョンを確認する	18

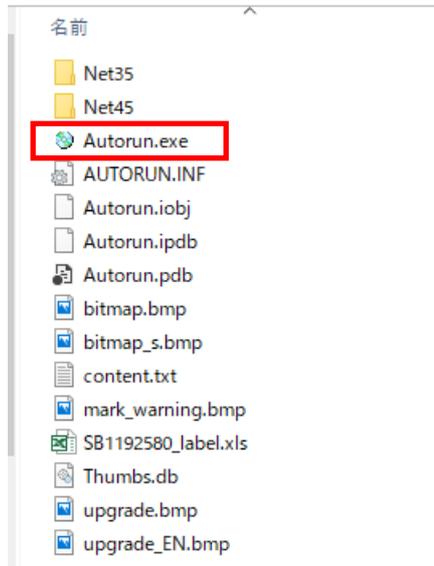
1. 動作環境

フレームワーク : .NET Framework 3.5、4.5

OS : Windows7、Windows10

2. インストール

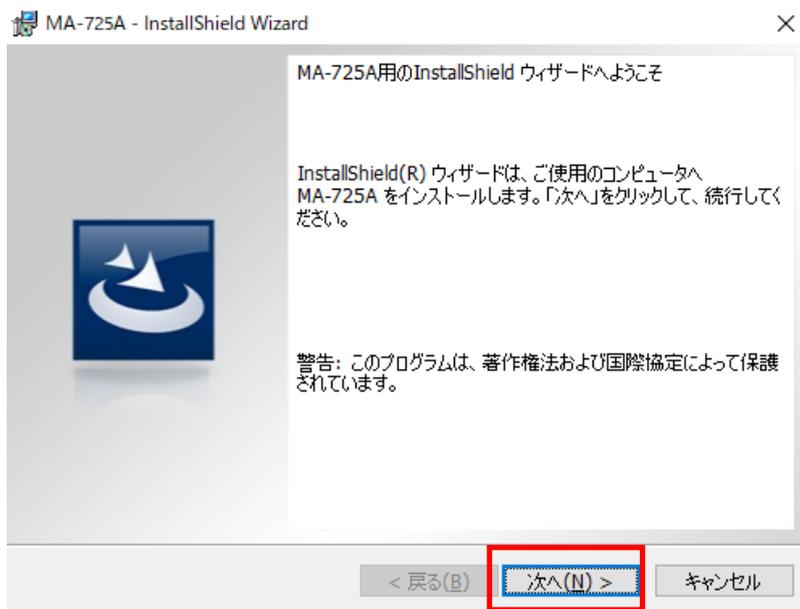
- 1) インストール用の CD を CD ドライブにセットします。
- 2) エクスプローラーより「Autorun.exe」をダブルクリックします。



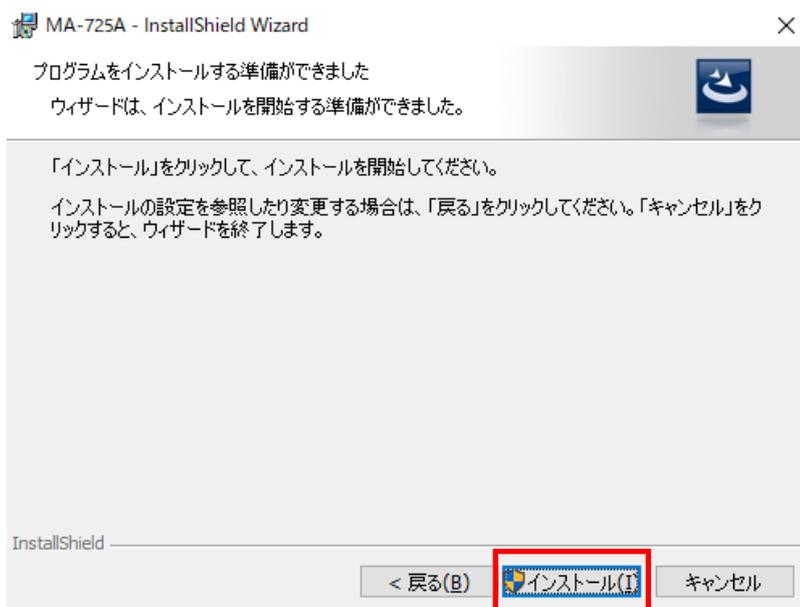
- 3) 言語を指定して「Install Program」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



- 4) 「次へ」 ボタンをクリックします。



- 5) 「インストール」 ボタンをクリックします。

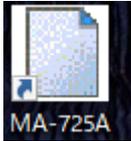


6) インストールが完了したので、「完了」ボタンをクリックして終了します。

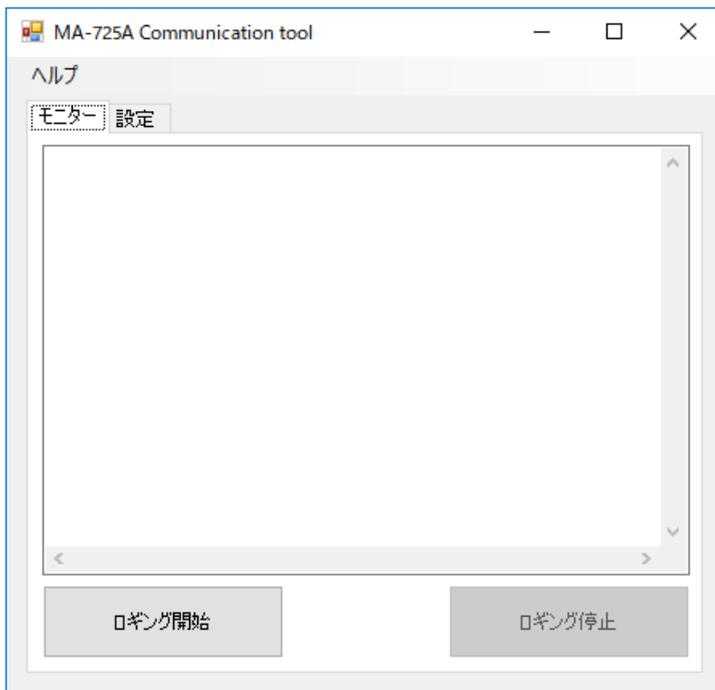


3. Communication tool を起動する

クライアント PC 上の下記のアイコンをダブルクリックします。



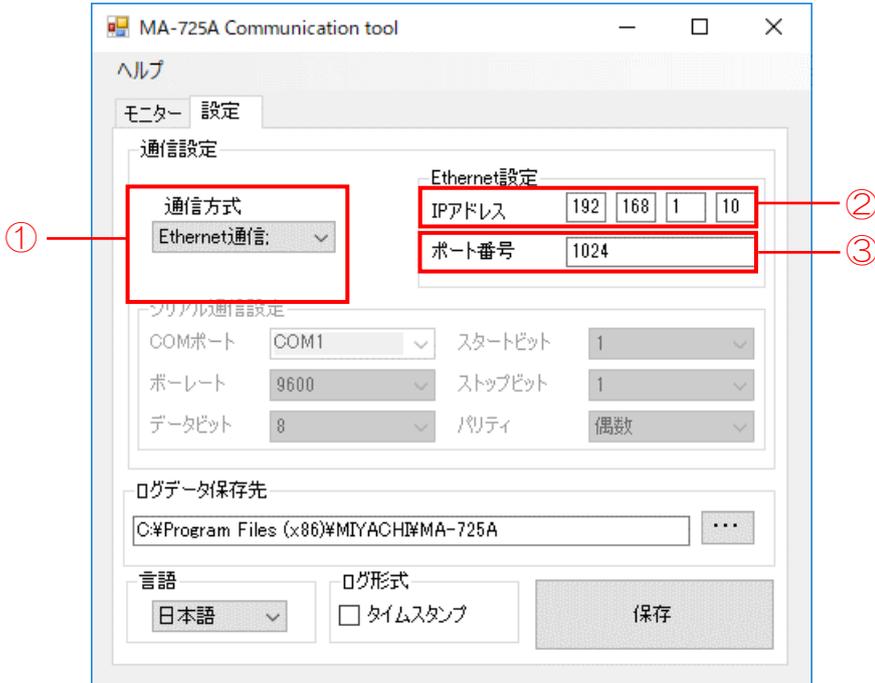
Communication tool のメイン画面が表示されます。



4. イーサネット通信を行う

(1) 通信設定を変更する

「設定」タブを表示し、イーサネット通信の設定をします。



① 通信方式

通信方式は「Ethernet 通信」を選択します。

② IP アドレス

Ethernet 通信の IP アドレスを設定します。
IP アドレスに変換可能な値のみ設定することができます。
「モニター」タブに切り替えるときにエラーチェックが行われます。

<エラーメッセージ>

「IP アドレスに誤りがあります。」(IP アドレスに変換できない値が設定されている場合)

③ ポート番号

Ethernet 通信のポート番号を設定します。
1～65535 を設定することができます。
「モニター」タブに切り替えるときにエラーチェックが行われます。

<エラーメッセージ>

「ポート番号は「1～65535」で設定してください。」(1～65535 以外の値が設定されている場合)

(2) 通信を開始する

「モニター」タブを表示し、「ロギング開始」ボタンをクリックします。
MM-400A と接続し、受信を待ちます。



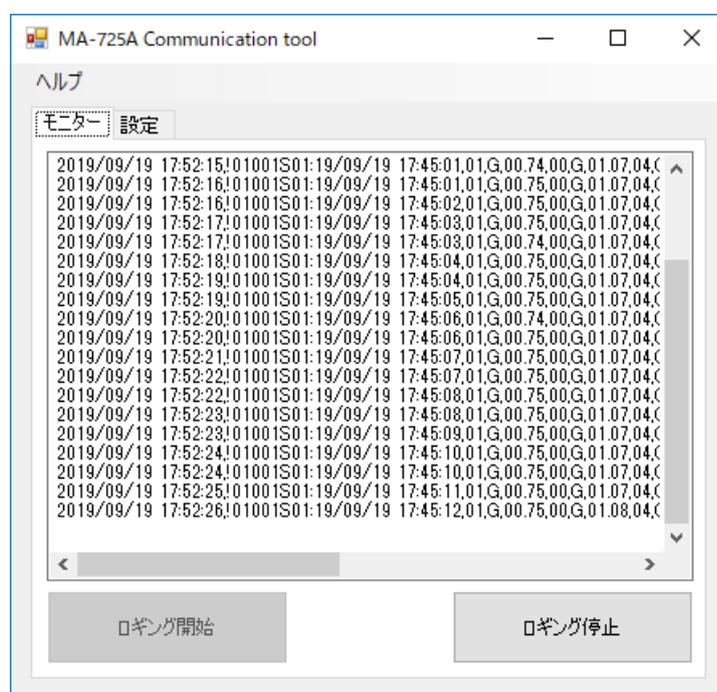
(3) 通信内容を確認する

通信が行われると、「モニター」タブに通信電文が表示されます。
1レコードを1行に表示します。

yyyy/MM/dd HH:mm:ss, 通信電文
(yyyy/MM/dd HH:mm:ss は、通信日時)

通信日時は、「設定」タブの「ログ形式」より「タイムスタンプ」チェックボックスを ON にしたときに有効になります。OFF の場合は、通信電文のみの表示となります。

表示しきれない場合は水平スクロールバーで確認することができます。
最新レコードは最下部に表示され、最新レコードが表示されるように自動で下にスクロールされます。
最大 65000 レコード表示し、65000 レコードを超えた場合は最古のデータを消し、最新レコードを追加します。



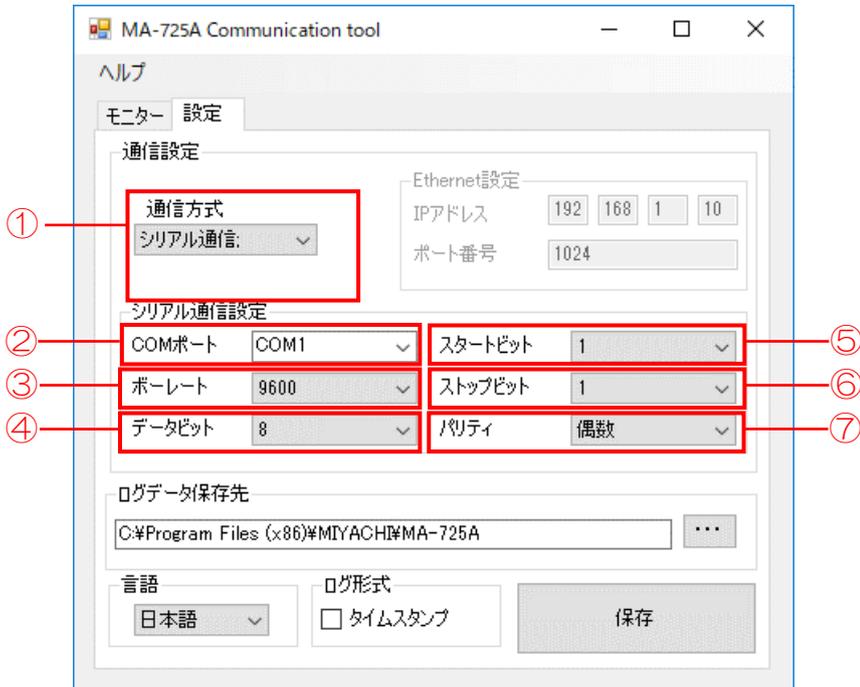
(4) 通信を停止する

「ロギング停止」ボタンをクリックします。
MM-400A との接続が切断されます。

5. シリアル通信を行う

(1) 通信設定を変更する

「設定」タブを表示し、シリアル通信の設定をします。



① 通信方式

通信方式は「シリアル通信」を選択します。

② COMポート

シリアル通信のCOMポートを設定します。

アプリケーション起動時は、使用しているPCが認識しているCOMポートが選択可能になっています。

上記COMポートではなく、手動で設定することも可能です。

「モニター」タブに切り替えるときにエラーチェックが行われます。

<エラーメッセージ>

「COMポートは「COM*」で設定してください。」(ポート名称に変換できない値が設定された場合)

③ ボーレート

シリアル通信のボーレートを設定します。
以下から選択することが可能です。

9600
14400
19200
38400
57600
115200

④ データビット

シリアル通信のデータビットを設定します。
以下から選択することが可能です。

7
8

⑤ スタートビット

シリアル通信のスタートビットを設定します。
固定値で1が設定されています。

⑥ ストップビット

シリアル通信のストップビットを設定します。
以下から選択することが可能です。

1
1.5
2

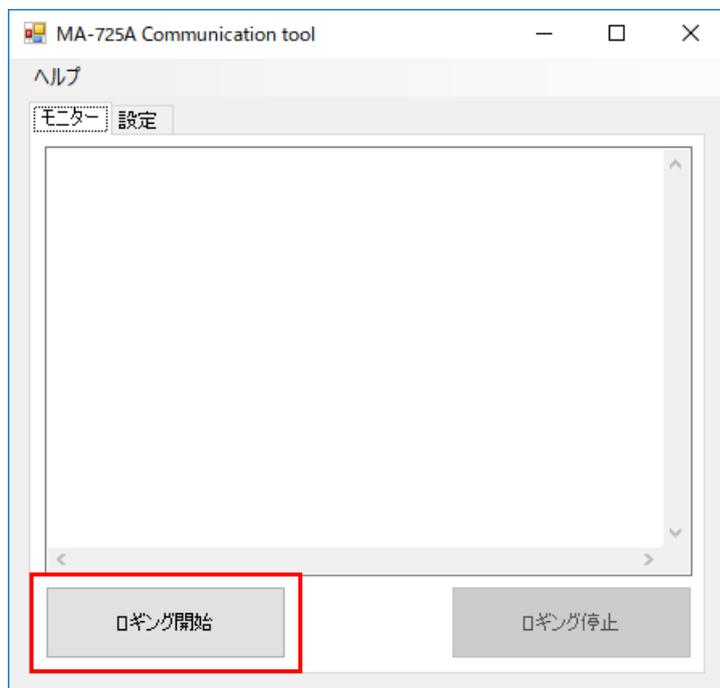
⑦ パリティ

シリアル通信のパリティを設定します。
以下から選択することが可能です。

偶数
奇数
なし
マーク
スペース

(2) 通信を開始する

「モニター」タブを表示し、「ロギング開始」ボタンをクリックします。
MM-400A と接続し、受信を待ちます。



(3) 通信内容を確認する

通信が行われると、「モニター」タブに通信電文が表示されます。
1レコードを1行に表示します。

yyyy/MM/dd HH:mm:ss, 通信電文
(yyyy/MM/dd HH:mm:ss は、通信日時)

通信日時は、「設定」タブの「ログ形式」より「タイムスタンプ」チェックボックスを ON にしたときに有効になります。OFF の場合は、通信電文のみの表示となります。

表示しきれない場合は水平スクロールバーで確認することができます。
最新レコードは最下部に表示され、最新レコードが表示されるように自動で下にスクロールされます。
最大 65000 レコード表示し、65000 レコードを超えた場合は最古のデータを消し、最新レコードを追加します。



(4) 通信を停止する

「ロギング停止」ボタンをクリックします。
MM-400A との接続が切断されます。

6. 通信状況を確認する

通信状況に応じて、タスクトレイに以下のアイコンが表示されます。

	ロギング開始時	ロギング停止時
表示アイコン		
マウスポインターが表示アイコン上に置かれたときの表示テキスト	通信方式に応じた接続先 イーサネット通信の場合 IP アドレス (例：192.168.0.1) シリアル通信の場合 ポート名称 (例：COM1)	左記と同じ

表示アイコンは、**MM-400A** との通信状況が変更されたときに更新されます。
表示テキストは、「設定」タブから「モニター」タブへ切り替えたときに更新されます。

7. 通信データをファイル出力する

「モニター」タブに表示された受信データはログデータとしてファイル出力されます。



出力フォルダ

「設定」タブにて、通信データのファイル出力先フォルダを設定します。テキスト入力または「…」ボタンをクリックすることで表示される画面から選択することができます。

「モニター」タブに切り替えるときにエラーチェックが行われます。

<エラーメッセージ>

「ログデータ保存先は存在しないフォルダです。」（存在しないフォルダが設定されている場合）

ログデータ保存先で設定されたフォルダに、通信方式に応じたフォルダが作成されます。

※すでに作成されている場合は、そのフォルダにファイル出力をします。

通信方式：Ethernet 通信

ログデータ保存先で設定したパス¥Ethernet 設定で指定した IP アドレス¥出力ファイル

通信方式：シリアル通信

ログデータ保存先で設定したパス¥シリアル通信設定で指定した COM ポート¥出力ファイル

保存形式

CSV フォーマット

ファイル名

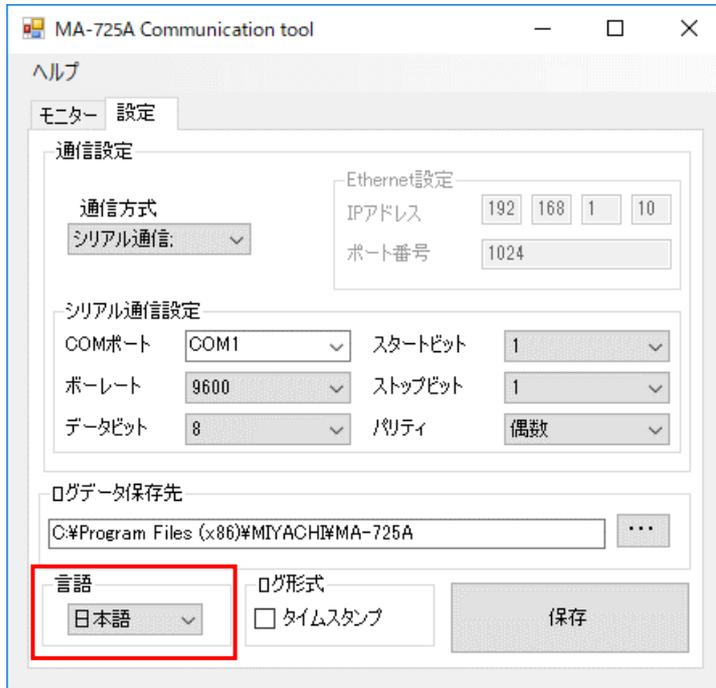
ログ開始日時 (yyyyMMddHHmmss.csv) ※時間は 24 時間表記

出力内容

1 電文を 1 レコードとし、最大 65000 レコード保存されます。

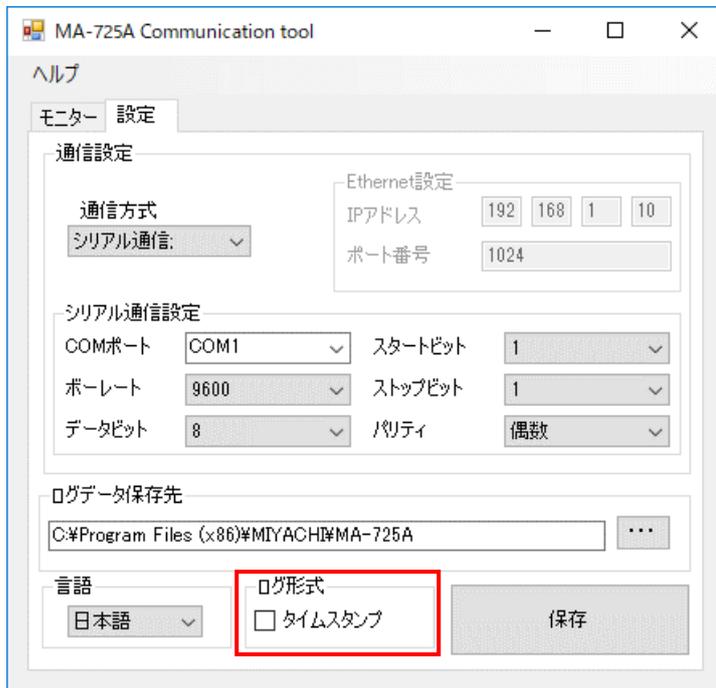
65000 レコードを超えた場合は、新たにファイルを作成します。

8. 表示言語を設定する



コンボボックスより表示言語を選択します。

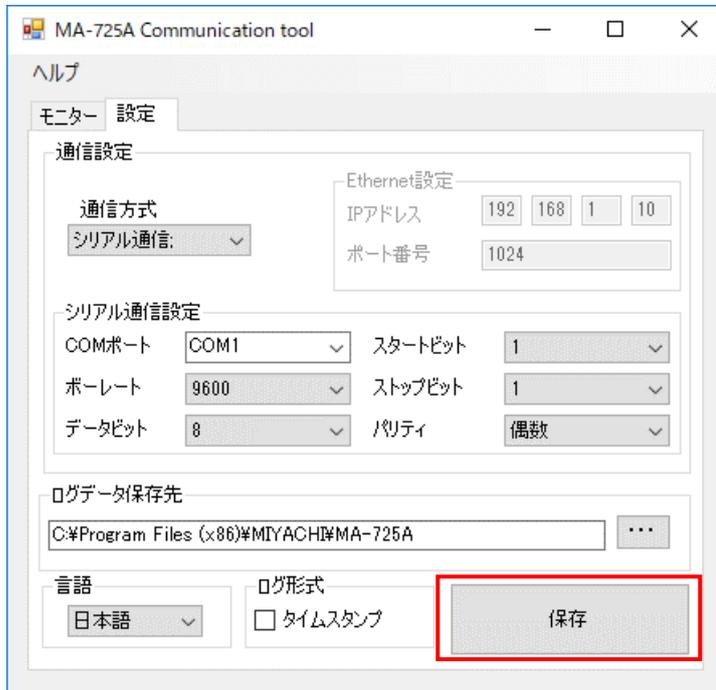
9. ログ形式を設定する



「タイムスタンプ」のチェックボックスを ON にすると、通信電文の先頭に電文を受信した日時を付加してログ出力します。OFF にした場合は、通信電文をそのままログ出力します。

10. 設定を保存する

「設定」タブで保存した設定項目は、次回アプリケーション起動時に初期設定値として使用されます。



「保存」ボタンをクリックすることで、スタートビット以外の設定項目を保存します。

11. バージョンを確認する

「ヘルプ」→「バージョン情報」を選択すると、Communication tool のバージョン情報を確認できます。

